

はじめに

埼玉県教育局県立学校部保健体育課長

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた状況でスタートし、授業や部活動をはじめ、学校教育活動全体で感染症対策を徹底した上での運営をしていただきました。学校現場の皆様には多大なる御理解と御協力を賜り、感謝いたします。

社会に目を向けますと、延期された東京2020オリンピック・パラリンピックが無観客で開催され、選手の活躍に心が躍らされたことは記憶に新しいところです。また、選手の活躍だけでなく、大会を支える役員やボランティアの存在も取り上げられ、体育・スポーツが目指している「する・みる・支える・知る」という観点が凝縮された大会でした。さらに、北京2022オリンピック・パラリンピックが開催され、同一年度に夏季と冬季のオリンピック・パラリンピックが開催されるという、これまでに例のない年になり、多くのスポーツに触れる機会に恵まれました。

学校体育におきましては、改訂された学習指導要領が一昨年度からは小学校で、昨年度からは中学校で全面实施となりました。そして今年度は、高等学校の新学習指導要領が年次進行での実施が始まります。

学習指導要領の趣旨に基づき、小学校から高等学校までの12年間を見通した児童生徒の「学び」を大切に、児童生徒がスポーツに親しみ、生涯を通じた豊かなスポーツライフを実現する資質を育てていただきたいと存じます。保健体育課では昨年度から「運動好きな児童生徒育成推進委員会」を立ち上げ、各校種における教育課程や授業計画の作成の一助となるように検討を進めております。

各校におかれましては、改めて学習指導要領の趣旨を踏まえ、各校の指導内容を精査し、授業実践が今回整理された資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）に基づくものになるよう、お願いいたします。

さて、埼玉県の児童生徒の体力については、一昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で任意提出とした「埼玉県児童生徒の新体力テスト」や「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を再開しました。テストの結果としては、一昨年度と比較して総合評価に係る数値は低下したものの、全国的には上位に位置しております。体力の低下は新型コロナウイルス感染症による臨時休業等の影響が大きいと推察しますが、感染症拡大防止に努めつつ、児童生徒の体育的活動の充実に計画的・継続的に取り組んでいただいた結果であると感謝いたします。

部活動に目を向けてみますと、一昨年度に中止を余儀なくされた高等学校総合体育大会及び中学校総合体育大会が開催され、中学校総合体育大会のうち、バレーボール及びハンドボールについては、本県を会場にして熱戦が繰り広げられました。大会の運営に御尽力をいただいた、多くの関係者の方々に、心から感謝いたします。

また、全国大会のみならず、県内全ての大会で感染防止対策を徹底した上での運営となり、関係者の皆様に多大なる御負担と御協力をいただいたことに改めてお礼申し上げます。

部活動については、文部科学省及びスポーツ庁による「地域部活動」への移行に関する検討が進められています。中学校の部活動が主な対象となりますが、県としては、国の動向を注視し、適宜各市町村に情報提供してまいります。部活動が学校教育に果たす意義は大きいと考えておりますが、一方で教職員自身が健康的に指導に当たること、児童生徒が一層元気になっていくことも大切です。是非、生徒と教職員がともに元気に活動できる部活動の姿を検討していただきたいと存じます。

結びに、今後も体育活動時の事故防止や体罰の防止・根絶を含めた適切な指導がなされますよう各学校、教職員の皆様にも特段の御協力をお願いするとともに、本書を学校体育に関する様々な課題に対応した学校体育指導者の必携書として御活用いただき、各学校における体育的活動の一層の充実にお取り組みいただくようお願いいたします。